

注3

大学番号：私048

[平成30年度設置]

計画の区分： 学部^{注1}の学科の設置

注1

届出

聖学院大学 人文学部 児童学科

注2

【届出】設置に係る設置計画履行状況報告書

学校法人聖学院
平成30年5月1日現在

作成担当者

大学事務局学長室

ナルセ トモ
成瀬 知

電話番号 048-781-0925

(夜間) 048-781-0925

F A X 048-726-2962

e-mail genaffairs@seigakuin-univ.ac.jp

(注) 1 「計画の区分」は設置時の基本計画書「計画の区分」と同様に記載してください。

2 大学院の場合は、表題を「〇〇大学大学院・・・」と記入してください。

設置時から対象学部等の名称変更があった場合には、表題には設置時の旧名称を記載し、その下欄に
()書きにて、現在の名称を記載してください。

例) 〇〇大学 △△学部 □□学科

(◇◇学部(平成◇◇年度より学科名称変更))

表題は「計画の区分」に従い、記入してください。

例)

- ・学部の設置の場合：「〇〇大学 △△学部」
- ・学部の学科の設置の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科」
- ・短期大学の学科の設置の場合：「〇〇短期大学 △△学科」
- ・大学院の研究科の設置の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科」
- ・通信教育課程の開設の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科(通信教育課程)」

3 大学番号の欄については、平成30年3月26日付事務連絡「履行状況報告書の提出について(依頼)」の別紙に記載のある大学番号を記載してください。

目次

人文学部

＜児童学科＞	ページ
1. 調査対象大学等の概要等	1
2. 授業科目の概要	5
3. 施設・設備の整備状況、経費	15
4. AC対象学部等を含む大学等の状況	16
5. 教員組織の状況	18
6. 留意事項等に対する履行状況等	30
7. その他全般的事項	32

1 調査対象大学等の概要等

(1) 設 置 者

学校法人聖学院

(2) 大 学 名 聖学院大学

(3) 大学の位置

〒362-8585
埼玉県上尾市戸崎1番1号

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を()書きで記入してください。
・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

(4) 管理運営組織

職 名	設 置 時	変 更 状 況	備 考
理 事 長	(シミズ マサユキ) 清水 正之 (平成28年4月)		
学 長	(シミズ マサユキ) 清水 正之 (平成27年4月)		
学 部 長	(シミズ ヒトシ) 清水 均 (平成28年4月)		
学科長等	(カンバラ マサヒコ) 鎌原 雅彦 (平成30年4月)	(タザワ カオル) 田澤 薫 (平成30年4月)	選任のため変更。 変更年月日：平成30年4月1日(30)

- (注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を()書きで記入してください。

(例) 平成29年度に報告済の内容 → (29)

平成30年度に報告する内容 → (30)

- ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載（昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正）するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
- ・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。
- ・大学独自の職名を設けていて当該職位がない場合は、各職に相当する職名の方を記載してください。

(5) 調査対象学部等の名称、定員、入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部・学科または研究科の専攻等、定員を定めている組織ごとに記入してください(入試区分ごとではありません)。
- ・ なお、課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は、法令上規定されている最小単位(大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」でも記載してください。その場合適宜各項目の表を追加してください。
- ・ 様式は、平成27年度開設の4年制の学科の場合(平成30年度までの4年間)ですが、開設年度・修業年限に合わせて作成してください。(修業年限が3年以下の場合には欄を削除し、5年以上の場合には、欄を設けてください。)

(5) - ① 調査対象学部等の名称等

調査対象学部等の名称(学位)	学位又は学科の分野	設置時の計画				備考
		修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	
人文学部 児童学科 学士(児童学)	文学関係 教育学・保育学関係	4年	100人	3年次 -人	400人	

- (注) ・ 定員を変更した場合は、「備考」に変更前的人数、変更年月及び報告年度を()書きで記入してください。
- ・ 学生募集停止を予定している場合は、「備考」にその旨記載してください。
- ・ 「学位又は学科の分野」には、「認可申請書」又は「設置届出書」の「教育課程等の概要(別記様式第2号(その2の1))」の「学位又は学科の分野」と同様に記入してください。

(5) - ② 調査対象学部等の入学者の状況

対象年度 区分	平成30年度		平成31年度		平成32年度		平成33年度		平均入学定員 超過率	備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期		
A 入学定員	100人 (-) [若干名]	-人	100人 (-) [-]	-人	100人 (-) [-]	-人	100人 (-) [-]	-人	0.70倍	
志願者数	158 (-) [1]	- (-) [-]	() () []	() () []	() () []	() () []	() () []	() () []		
受験者数	151 (-) [1]	- (-) [-]	() () []	() () []	() () []	() () []	() () []	() () []		
合格者数	141 (-) [0]	- (-) [-]	() () []	() () []	() () []	() () []	() () []	() () []		
B 入学者数	70 (-) [0]	- (-) [-]	() () []	() () []	() () []	() () []	() () []	() () []		
入学定員超過率 B/A	0.70									

- (注) ・ 数字は、平成30年5月1日現在の数字を記入してください。
- ・ () 内には、編入学の状況について外数で記入してください。なお、編入学を複数年次で行っている場合には、(())書きとするなどし、その旨を「備考」に付記してください。該当がない年には「-」を記入してください。
- ・ [] 内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
- ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により、我が国の大学(大学院を含む。)、短期大学、高等専門学校、専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
- ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
- ・ 転入学生は記入しないでください。
- ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
- ・ 「入学定員超過率」については、各年度の春季入学とその他を合計した入学定員、入学者数で算出してください。なお、計算の際は小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。
- ・ 「平均入学定員超過率」には、開設年度から提出年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。なお、計算の際は「入学定員超過率」と同様にしてください。

(5) - ③ 調査対象学部等の在学者の状況

対象年度 学 年	平成30年度		平成31年度		平成32年度		平成33年度		備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1 年次	70 [-] (-)	[-] (-)	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	
2 年次	/		[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	
3 年次			/		[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	
4 年次					/		[] ()	[] ()	
計							[] ()	[] ()	

- (注) ・ 数字は、平成30年5月1日現在の数字を記入してください。
- ・ []内には、留学生の状況について**内数**で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 - ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 - ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
 - ・ 編入学生や転入学生も含めて記入してください。その際、備考欄に人数の内訳を記入してください。
 - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 - ・ 「計」については、**各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数**を記入してください。
 - ・ ()内には、留年者の状況について、内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。

(5) ④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	在学者数(b)	退学者数(a)	内訳			主な退学理由
			入学した年度	退学者数	退学者数の うち留学生数	
平成30年度	70 人	0 人	平成30年度	0 人	0 人	
平成31年度	人	人	平成30年度	人	人	
			平成31年度	人	人	
平成32年度	人	人	平成30年度	人	人	
			平成31年度	人	人	
			平成32年度	人	人	
平成33年度	人	人	平成30年度	人	人	
			平成31年度	人	人	
			平成32年度	人	人	
			平成33年度	人	人	
合 計	70 人	0 人				

(注)・ 数字は、平成30年5月1日現在の数字を記入してください。

- ・各年度の在学者数については、該当年度に在学した人数を記入してください。(途中で退学者がいた場合でも、その退学者数を減らす必要はありません。)
- ・内訳については、退学した学生が入学した年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
- ・在学者数や退学者数には編入学生や転入学生も含めて記入してください。
- ・留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)」により、我が国の大学(大学院を含む。)、短期大学、高等専門学校、専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記入してください。
- ・短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
- ・「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(○人)」というように、その人数も含めて記入してください。
- (記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学
- ・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

(5) 一⑤ 調査対象学部等の年度ごとの退学者の割合

【平成30年度】

$$\frac{\text{平成30年度の退学者数(a)}}{\text{平成30年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{70} = \boxed{0} \%$$

【平成31年度】

$$\frac{\text{平成31年度の退学者数(a)}}{\text{平成31年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{0} = \boxed{} \%$$

【平成32年度】

$$\frac{\text{平成32年度の退学者数(a)}}{\text{平成32年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{0} = \boxed{} \%$$

【平成33年度】

$$\frac{\text{平成33年度の退学者数(a)}}{\text{平成33年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{0} = \boxed{} \%$$

(注)・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

＜人文学部 児童学科＞

【認可時又は届出時】

[illegible]

【平成30年度】

科目 区分		授業科目の名称	配 当 年 次	単位数			専任教員等の配置						兼 任 ・ 兼 担
				必 修	選 択	自 由	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手		
基礎 科目 群	基礎 科目	キリスト教概論A	1前	2						1		兼1	
		キリスト教概論B	1後	2						1		兼1	
		情報基礎	1前・後	2								兼2	
		日本国憲法	1前・後	2								兼3	
		アカデミックライティング	1後	1								兼1	
		Special Lecture Series	2後	2								兼1	
	英語 科目	ECA(Speaking) I	1前・後	2								兼5	
		ECA(英語基礎表現)	1前・後	1								兼4	
		ECA(Reading) I	1前・後	1								兼4	
		ECA(Speaking) II	1前・後	2								兼2	
		ECA(Reading) II	1前・後	1								兼1	
		ECA(Cinema)A	1前・後	1								兼2	
		ECA(Cinema)B	1前・後	1								兼2	
		ECA(Culture)	2前・後	1								兼2	
		ECA(English through Songs)A	1前	1								兼2	
		ECA(English through Songs)B	1後	1								兼2	
		ECA(Pleasure Reading)A	1前	1								兼1	
		ECA(Pleasure Reading)B	1後	1								兼1	
		ECA(Business)	2前・後	1								兼1	
		ECA(English for Omotenashi)	1前・後	1								兼1	
		ECA(Travel English)	1前・後	1								兼4	
		ECA(Basic TOEIC)A	1前・後	1								兼2	
		ECA(Basic TOEIC)B	1後	1								兼2	
		ECA(Basic Grammar)	1前・後	1								兼2	
		ECA(やり直しの発音)	1前・後	1								兼1	
		ECA(Global Understanding)	1前・後	1								兼2	
	ECA(留学生のための英語)	1前・後	1								兼1		
	ECA(Advanced English)	1休	4								兼1		
	第二外国語 Ⅰ	ドイツ語Ⅰ	1前・後	2								兼2	
		ドイツ語Ⅱ	1後	2								兼1	
		フランス語Ⅰ	1前・後	2								兼3	
		フランス語Ⅱ	1後	2								兼1	
		スペイン語Ⅰ	1前・後	2								兼2	
		スペイン語Ⅱ	1前・後	2								兼1	
		イタリア語Ⅰ	1前・後	2								兼1	
		イタリア語Ⅱ	1後	2								兼1	
		中国語Ⅰ	1前・後	2								兼3	
第二外国語 Ⅱ	中国語Ⅱ	1前・後	2								兼2		
	韓国語Ⅰ	1前・後	2								兼2		
	韓国語Ⅱ	1前・後	2								兼1		
	日本語1(文字語彙)A	1前	2								兼2		
	日本語1(文字語彙)B	1前	2								兼3		
	日本語1(総合)A	1前	2								兼3		
	日本語1(総合)B	1前	2								兼3		
	日本語1(文章表現)	1前	2								兼3		
	日本語1(口頭表現)	1前	1								兼3		
	日本語1(応用漢字)	1前	1								兼3		
	日本語1(文法)	1前	1								兼2		
	日本語1(アカデミックススキル)	1後	1								兼3		
	日本語1A	1後	1								兼1		
日本語1B	1後	1								兼1			
日本語1C	1後	1								兼1			
日本語1D	1後	2								兼			

科目 区分	授業科目の名称	配 当 年 次	単位数			専任教員等の配置					兼 任 ・ 兼 担
			必 修	選 択	自 由	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手	
基礎科目											
	スポーツ科目	健康・体力づくり実習A	1前	1							兼5
		健康・体力づくり実習B	1後	1							兼5
		生涯スポーツ実習A	1前	1							兼7
		生涯スポーツ実習B	1後	1							兼7
		体育(講義)	1後	1							兼1
	キリスト教関連科目	聖書の世界A	2前	2							兼1
		聖書の世界B	2後	2							兼1
		イングリッシュ・バイブルA	2前	2							兼1
		イングリッシュ・バイブルB	2後	2							兼1
		キリスト教と歴史形成A	2前	2							兼1
		キリスト教と歴史形成B	2後	2							兼1
		キリスト教思想史A	2前	2							兼1
		キリスト教思想史B	2後	2							兼1
		キリスト教と国際社会A	2前	2							兼1
		キリスト教と国際社会B	2後	2							兼1
		キリスト教と日本社会A	2前	2							兼1
		キリスト教と日本社会B	2後	2							兼1
		キリスト教とアジア文化A	2前	2							兼1
		キリスト教とアジア文化B	2後	2							兼1
		キリスト教と自然科学A	2前	2							兼1
		キリスト教と自然科学B	2後	2							兼1
		キリスト教と音楽A	2前	2							兼1
		キリスト教と音楽B	2後	2							兼1
		キリスト教音楽史A	2前	2							兼1
		キリスト教音楽史B	2後	2							兼1
		キリスト教と美術A	2前	2							兼1
		キリスト教と美術B	2後	2							兼1
		キリスト教と福祉活動の実践A	2前	2							兼1
		キリスト教と福祉活動の実践B	2後	2							兼1
		キリスト教カウンセリング論	2後	2							兼1
		キリスト教と心のケア	2前	2							兼1
	キャリア教育科目	時事問題演習	1前	1							兼2
		図表理解	1後	1							兼2
		キャリアデザインA	2前	1							兼1
		キャリアデザインB	2後	1							兼1
		ビジネス・ライティング	2後	1							兼1
		ビジネス・コミュニケーション	2後	1							兼1
		ビジネス・プレゼンテーション	2後	1							兼1
		業界・企業研究	3前・後	1							兼2
		インターンシップⅠ(事前学習)	2後・3前	2							兼2
		インターンシップⅡ(実習)	3休	2							兼2
		海外インターンシップA	1休	4							兼1
		海外インターンシップB	1休	4							兼1
		海外インターンシップC	1休	2							兼1
		海外インターンシップD	1休	1							兼1

科目 区分	授業科目の名称	配 当 年 次	単位数			専任教員等の配置					兼 任 ・ 兼 担
			必 修	選 択	自 由	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手	
基礎科目	第二外国語Ⅱ	日本語2(文字語彙)A	1前・後	1							兼3
		日本語2(文字語彙)B	1前・後	1							兼5
		日本語2(文章表現)A	1前・後	1							兼5
		日本語2(文章表現)B	1前・後	1							兼6
		日本語2(口頭表現)	1前・後	1							兼5
		日本語2(試験対策)A	1前・後	1							兼3
		日本語2(試験対策)B	1前・後	1							兼3
		日本語2(日本語ICT)	1前・後	1							兼3
		アカデミックジャパニーズ	1後	2							兼3
	スポーツ科目	日本語3(文字語彙)A	1前・後	1							兼2
		日本語3(文字語彙)B	1前・後	1							兼2
		日本語3(文章表現)	1前・後	1							兼2
		日本語3(口頭表現)	1前・後	1							兼2
		日本語3(試験対策)	1前・後	1							兼2
		日本語4(文字語彙)A	1後	1							兼2
		日本語4(文字語彙)B	1後	1							兼2
		日本語4(文章表現)	1後	1							兼2
		日本語4(口頭表現)	1後	1							兼2
		日本語4(試験対策)	1後	1							兼2
		健康・体力づくり実習A	1前	1							兼5
		健康・体力づくり実習B	1後	1							兼5
		生涯スポーツ実習A	1前	1							兼5
		生涯スポーツ実習B	1後	1							兼5
		体育(講義)	1後	1							兼1
	基礎科目	キリスト教とアメリカ文化A	2前	2							兼1
		キリスト教とアメリカ文化B	2後	2							兼1
		キリスト教とアジア文化A	2前	2							兼1
		キリスト教とアジア文化B	2後	2							兼1
		キリスト教と自然科学A	2前	2							兼1
		キリスト教と自然科学B	2後	2							兼1
		キリスト教と音楽A	2前	2							兼1
		キリスト教と音楽B	2後	2							兼1
		キリスト教音楽史A	2前	2							兼1
		キリスト教音楽史B	2後	2							兼1
		キリスト教と美術A	2前	2							兼1
		キリスト教と美術B	2後	2							兼1
		キリスト教と福祉活動の実践A	2前	2							兼1
		キリスト教と福祉活動の実践B	2後	2							兼1
		キリスト教カウンセリング論	2後	2							兼1
		キリスト教と心のケア	2前	2							兼1
	キャリア教育科目	時事問題演習	1前	1							兼2
		図表理解	1後	1							兼2
		キャリアデザインA	2前	1							兼1
		キャリアデザインB	2後	1							兼1
		ビジネス・ライティング	2後	1							兼1
		ビジネス・コミュニケーション	2後	1							兼1
		ビジネス・プレゼンテーション	2後	1							兼1
		業界・企業研究	3前・後	1							兼2
		インターンシップⅠ(事前学習)	2後・3前	2							兼2
		インターンシップⅡ(実習)	3休	2							兼2
		海外インターンシップA	1休	4							兼1
		海外インターンシップB	1休	4							兼1
		海外インターンシップC	1休	2							兼1
		海外インターンシップD	1休	1							兼1
		ビジネス日本語対策講座A	3前	1							兼1
		ビジネス日本語対策講座B	3後	1							兼1

科目 区分		授業科目の名称	配 当 年 次	単位数			専任教員等の配置					兼 任 ・ 兼 担
				必 修	選 択	自 由	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手	
基礎 科 目 群	その他	日本国憲法	1前・後	2								兼3
		Special Lecture Series	2後	2							兼1	
		地元学	1前	2							兼2	
		宮原地域学	1前	2							兼1	
		釜石学	1前	2							兼2	
		コミュニティサービスマーニングⅠ	2前	2							兼1	
		コミュニティサービスマーニングⅡ	2後	2							兼1	
		被災地支援・インターンシップA	1休	4							兼1	
		被災地支援・インターンシップB	1休	2							兼1	
		被災地支援・インターンシップC	1休	1							兼1	
		アメリカ文化演習A	1休	4							兼1	
		アメリカ文化演習B	1休	2							兼1	
		オーストラリア文化演習	1休	4							兼1	
カナダ文化演習	1休	4							兼1			
教養 科 目 群	人間 理 解 へ の 基 盤 を 学 ぶ	哲学	1前・後	4							兼1	
		欧米文学	1前・後	4							兼1	
		言語学	1前・後	4							兼1	
		文学	1前・後	4							兼2	
		文化学	1前	4							兼1	
		西洋史	1前・後	4							兼3	
		日本史	1後	4							兼1	
		異文化間コミュニケーション	1前	4							兼1	
	社会 理 解 へ の 基 盤 を 学 ぶ	政治学	1前・後	4							兼3	
		経済学	1前・後	4							兼3	
		法学	1前・後	4							兼2	
		社会学	1前・後	4							兼1	
		障害児(者)の理解と社会	1前・後	4		1						
		福祉環境学	1後	4							兼1	
		社会福祉概論	1前	4							兼1	
情報と社会	1後	4							兼1			
自然環境への基礎を学ぶ	環境学	1前	4							兼1		
	民俗環境論	1前・後	4							兼1		
	職業人生と健康	1前	4							兼1		
	教養としての数学	1前	4							兼1		
専門 科 目 群	共通 基 本 科 目	キリスト教文化論A	3前	2				1				
		キリスト教文化論B	3後	2				1				
		児童学概論	1前	2			1					
		言葉の基礎	1前	2			2					
		教職演習A	2前	1					1			
		教職演習B	2後	1					1			
		教職演習C	3前	1					1			
		教職演習D	3前	1			1					
		教職演習E	3前	1					1			
		教職演習F	3後	1					1			
		教職演習G	4前	1					1			
		教職演習(小学校英語A)	2後	1					1			
		教職演習(小学校英語B)	2後	1					1			
	児童学海外研修	1休	4				1					
	児童 文 化 系 統	児童文化論	1後	2			1	1				兼1
		絵本文化論	1前		2			1				
		児童文学	1前・後		2			1				
		英米児童文学	1前		4			1				
		ファンタジー論	1後		4			1				
	心理 学 系 統	おもちゃ論	2前		2							兼1
異文化間教育		2後		2								
教育心理学		2前	1				1					
	発達心理学	1後	2								兼1	
	教育相談(カウンセリングを含む。)	2後	2			1						

科目 区分		授業科目の名称	配 当 年 次	単位数			専任教員等の配置					兼 任 ・ 兼 担
				必 修	選 択	自 由	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手	
基礎 科目 群	地域学	地元学	1後		2							兼2
		宮原地域学	1前		2							兼1
		釜石学	1前		2							兼3
	サービ スラー ニング	コミュニティサービスラーニングⅠ	2前		2							兼1
		コミュニティサービスラーニングⅡ	2休		2							兼1
		ボランティア体験の言語化技法と実践	1前		2							兼1
		被災地支援・インターンシップA	1休		4							兼1
		被災地支援・インターンシップB	1休		2							兼1
		被災地支援・インターンシップC	1休		1							兼1
	海外研 修	アメリカ文化演習A	1休		4							兼1
		アメリカ文化演習B	1休		2							兼1
		オーストラリア文化演習	1休		4							兼1
		カナダ文化演習	1休		4							兼1
海外文化演習		1休		4							兼1	
教養 科目 群	人間理 解への 基礎を 学ぶ	哲学	1前・後		4							兼1
		欧米文学	1前・後		4							兼1
		言語学	1前・後		4							兼1
		文学	1前・後		4							兼2
		文化学	1前		4							兼1
		西洋史	1前・後		4							兼2
		日本史	1後		4							兼1
		比較言語文化論	1前		4							兼1
		異文化間コミュニケーション	1前		4							兼1
	社会理 解への 基礎を 学ぶ	政治学	1前・後		4							兼3
		経済学	1前・後		4							兼3
		法学	1前・後		4							兼2
		社会学	1前・後		4							兼1
		障害児(者)の理解と社会	1前・後		4		1					
		福祉環境学	1後		4							兼1
		社会福祉概論	1前		4							兼1
		情報と社会	1後		4							兼1
		現代社会	1前・後		4							兼1
	自然環境 の基礎を 学ぶ	環境学	1前		4							兼1
		民俗環境論	1後		4							兼1
職業人生と健康		1前		4							兼1	
教養としての数学		1前		4							兼1	
専門 科目 群		共通基 本科目	キリスト教文化論A	3前	2			1				
	キリスト教文化論B		3後		2		1					
	児童学概論		1前		2		1					
	教職演習A		2前		1				1			
	教職演習B		2後		1				1			
	教職演習C		3前		1				1			
	教職演習D		3前		1		1					
	教職演習E		3前		1				1			
	教職演習F		3後		1				1			
	教職演習G		4前		1				1			
	教職演習(小学校英語A)	2後		1				1				
	教職演習(小学校英語B)	2後		1				1				
	児童学海外研修	1休		4			1					
	児童文 化系 統	児童文化論	1後	2			1	1				兼1
		絵本文化論	1前		2			1				
		児童文学	1後		2			1				
		英米児童文学	2前		4			1				
		ファンタジー論	1後		4			1				
	心理 学系 統	おもちゃ論	2前		2							兼1
異文化間教育		2後		2				1				
教育心理学		2前	1			1						
発達心理学		1後・休	2								兼1	
		教育相談(カウンセリングを含む。)	2後	2			1					

科目 区分	授業科目の名称	配 当 年 次	単位数			専任教員等の配置					兼任・ 兼担
			必 修	選 択	自 由	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手	
教育学系統	教育原理	1前	2				1				兼1
	キリスト教保育論	1後		2							兼1
	教育社会学	2前	2								兼1
	学校と教育の歴史	2前		2							兼1
	社会教育論A	2前		2			1				
	社会教育論B	2後		2			1				
	現代社会と社会教育A	2前		2			1				
	現代社会と社会教育B	2後		2			1				
福祉・ 教育関連系統	社会福祉	1後		2							兼1
	相談援助	2前・後		1							兼2
	児童家庭福祉	2前・後		2		1					
	保育原理	1前・後		2			1				
	社会的養護	2前・後		2							兼2
	乳児保育A	2前・後		1							兼1
	乳児保育B	2前・後		1							兼1
	社会的養護内容	2前・後		1							兼1
	保育相談支援	2前・後		1							兼1
	障害児保育A	2前・後		1					1		兼1
	障害児保育B	2前・後		1							兼1
	子どもの保健A	2前		2							兼1
	子どもの保健B	2前・後		2							兼2
	子どもの保健演習	2後		1							兼1
	家庭支援論	3前		2			1				
専門科目群	子どもの食と栄養A	2前		1					1		
	子どもの食と栄養B	2後		1					1		
	国語	1後		2				1			
	社会	1後		2				1			
	算数	1後		2				1			
	理科	1前		2				1			
	生活	1前		2				1			
	家庭	1後		2					1		兼1
	外国語	2前		2							兼1
	図画工作A	1前		1		1					
	図画工作B	1後		1		1					
	体育A	1前		1							兼1
	体育B	1後		1							兼1
	音楽A	1前		1			1				兼4
	音楽B	1後		1			1				
	音楽・器楽A	2前		1			1				兼5
	音楽・器楽B	1後		1			1				兼5
	音楽・合奏指導	1前		1							兼1
	教師論	1前	2				1	1			
	保育実践演習A	2前・後		1		1					
	保育実践演習B	2前・後		1				1			
	教職実践演習(幼・小)	4後		2		4	2	4	1		
	教育・保育課程論	2後	2				1				
	保育内容総論	1後		2		1					
	保育内容の研究・健康	3後		2							兼1
	保育内容の研究・人間関係	3後		2							兼1
	保育内容の研究・環境	3前		2				1			
	保育内容の研究・言葉	3前		2							兼1
	保育内容の研究・表現A	3前		2		1					
	保育内容の研究・表現B	3前		2							兼1
	幼児理解の理論と方法	3前		2		1					
	教育課程論	2後		2				1			
	初等国語科教育法	2後		2				1			
	初等社会科教育法	2前		2				1			
	算数科教育法	2前		2				1			
	理科教育法	2後		2				1			
	生活科教育法	2後		2				1			
	音楽科教育法	3前		2							兼1
	図画工作科教育法	2前		2		1					
	家庭科教育法	2後		2							兼1
	体育科教育法	2前		2							兼1
	外国語活動指導法	3前		2				1			
	道德教育指導法	2後		2				1			

科目 区分	授業科目の名称	配 当 年 次	単位数			専任教員等の配置					兼任・ 兼担
			必 修	選 択	自 由	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手	
教育学系統	教育原理	1前	2				1				
	キリスト教保育論	1後		2							兼1
	教育社会学	2前	2								兼1
	学校と教育の歴史	2前		2							兼1
	社会教育論A	2前		2							兼1
	社会教育論B	2後		2							兼1
	現代社会と社会教育A	2前		2			1				
	現代社会と社会教育B	2後		2			1				
福祉・ 教育関連系統	社会福祉	1後		2							兼1
	相談援助	2前・後		1							兼2
	児童家庭福祉	2前・後		2		1					
	保育原理	1前・後		2			1				
	社会的養護	2前・後		2							兼2
	乳児保育A	2前・後		1							兼1
	乳児保育B	2前・後		1							兼1
	社会的養護内容	2前・後		1							兼1
	保育相談支援	2前・後		1							兼1
	障害児保育A	2前・後		1					1		兼1
	障害児保育B	2前・後		1							兼1
	子どもの保健A	2前		2							兼1
	子どもの保健B	2前・後		2							兼2
	子どもの保健演習	2後		1							兼1
	家庭支援論	3前		2			1				
専門科目群	子どもの食と栄養A	2前		1					1		
	子どもの食と栄養B	2後		1					1		
	国語	1後		2				1			
	言葉の基礎	1前	2				2				
	社会	1前		2				1			
	算数	1前・後		2				1			
	理科	1前		2				1			兼1
	生活	1前・後		2				1			
	家庭	1後		2					1		兼1
	外国語	2前		2							兼1
	図画工作A	1前		1		1					
	図画工作B	1後		1		1					
	体育A	1前		1							兼1
	体育B	1後		1							兼1
	音楽A	1前		1			1				兼5
	音楽B	1後		1			1				
	音楽・器楽A	2前		1			1				兼5
	音楽・器楽B	1後		1			1				兼5
	音楽・実技A	1前		1			1				兼5
	音楽・実技B	1後		1			1				兼4
	音楽・合奏指導	1後		1							兼1
	教師論	1後	2				1	1			
	保育実践演習A	2前・後		1		1					
	保育実践演習B	2前・後		1				1			
	教職実践演習(幼・小)	4後		2		4	2	5	1		
	教育・保育課程論	2後	2				1				
	保育内容総論	1前・後		2		1					
	保育内容の研究・健康	3後		2							兼1
	保育内容の研究・人間関係	3後		2							兼1
	保育内容の研究・環境	3前		2				1			
	保育内容の研究・言葉	3前		2							兼1
	保育内容の研究・表現A	3前		2		1					
	保育内容の研究・表現B	3前		2							兼1
	幼児理解の理論と方法	3前		2		1					
	教育課程論	2後		2				1			
	初等国語科教育法	2前		2				1			
	初等社会科教育法	2前		2				1			
	算数科教育法	2前		2				1			
	理科教育法	2後		2				1			
	生活科教育法	2後		2				1			
	音楽科教育法	3前		2				1			
	図画工作科教育法	2前		2		1					
	家庭科教育法	2後		2							兼1
	体育科教育法	2前		2							兼1
	外国語活動指導法	3前		2				1			
	道德教育指導法	2後		2				1			兼1

科目 区分	授業科目の名称	配 当 年 次	単位数			専任教員等の配置					兼任・ 兼担
			必 修	選 択	自 由	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手	
			修	択	由	授	授	師	教	手	
専 門 科 目 群	特別活動指導法	2前		2				1			
	教育方法論	2前	2					1			
	生徒指導論(進路指導を含む。)	2前		2				1			
	学校インターンシップ(基礎)	2前・後	1			1		2			
	学校インターンシップ	2前・後		2				2			
	幼稚園教育実習	4前		5		1					
	幼稚園教育実習(副)	4後		3			1				
	保育実習	3通		4					1		兼1
	保育実習指導	3通		2					1		兼1
	保育実習A	4前		2			1				
	保育実習B	4前		2							兼1
	保育実習指導A	4前		1			1				
	保育実習指導B	4前		1							兼1
	小学校教育実習	3後		5				3			
	介護等体験及び事前事後指導	2通		2		1					
	障害児教育総論	2前		2		1					兼1
	知的障害児の心理・生理・病理A	2前		2					1		兼2
	知的障害児の心理・生理・病理B	2後		2					1		兼2
	肢体不自由児の心理・生理・病理	2前		2							兼1
	病弱児の心理・生理・病理	3前		2							兼2
	情緒障害児の心理	3後		2							兼1
	知的障害児指導法	2後		2		1					
	病弱児指導法	3後		2							兼1
	障害幼児指導法	2後		2							兼1
	肢体不自由児指導法	2後		2				1			
	視覚障害児の教育総論	3前		2							兼1
	聴覚障害児の教育総論	3前		2							兼1
	重複障害児の教育総論	3前		2							兼1
	発達障害児の教育総論	2後		2							兼2
	特別支援教育実習	4後		3		1		1	1		
	学校経営と学校図書館	2前		2							兼1
	学校図書館メディアの構成	2後		2							兼1
	学習指導と学校図書館	2後		2							兼1
	読書と豊かな人間性	2前		2							兼1
	情報メディアの活用	2後		2							兼1
演 習 科 目	専門演習(児童学Ⅰ)	2後		1		1					
	専門演習(児童学Ⅱ)	3前		1		1					
	専門演習(キリスト教幼児教育Ⅰ)	2後		1			1				
	専門演習(キリスト教幼児教育Ⅱ)	3前		1			1				
	専門演習(造形教育論Ⅰ)	2後		1		1					
	専門演習(造形教育論Ⅱ)	3前		1		1					
	専門演習(音楽創造論Ⅰ)	2後		1			1				
	専門演習(音楽創造論Ⅱ)	3前		1			1				
	専門演習(保育実践論Ⅰ)	2後		1		1					
	専門演習(保育実践論Ⅱ)	3前		1		1					
	専門演習(異文化間教育Ⅰ)	2後		1			1				
	専門演習(異文化間教育Ⅱ)	3前		1			1				
	専門演習(教育文化論Ⅰ)	2後		1			1				
	専門演習(教育文化論Ⅱ)	3前		1			1				
	専門演習(生涯学習Ⅰ)	2後		1		1					
	専門演習(生涯学習Ⅱ)	3前		1		1					
	専門演習(教育心理学Ⅰ)	2後		1		1					
	専門演習(教育心理学Ⅱ)	3前		1		1					
	専門演習(児童文学Ⅰ)	2後		1		1					
	専門演習(児童文学Ⅱ)	3前		1		1					
	専門演習(社会科Ⅰ)	2後		1				1			
	専門演習(社会科Ⅱ)	3前		1				1			
	専門演習(栄養教育Ⅰ)	2後		1					1		
	専門演習(栄養教育Ⅱ)	3前		1					1		

科目 区分	授業科目の名称	配 当 年 次	単位数			専任教員等の配置					兼任・ 兼担
			必 修	選 択	自 由	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手	
			修	択	由	授	授	師	教	手	
専 門 科 目 群	特別活動指導法	2前		2				1			
	教育方法論	2前	2					1			
	生徒指導論(進路指導を含む。)	2前		2				1			
	学校インターンシップ(基礎)	2前・後	1			1		2			
	学校インターンシップ	2前・後		2				2			
	幼稚園教育実習	4前		5		1					
	幼稚園教育実習(副)	4後		3			1				
	保育実習	3通		4					1		兼1
	保育実習指導	3通		2					1		兼1
	保育実習A	4前		2			1				
	保育実習B	4前		2							兼1
	保育実習指導A	4前		1			1				
	保育実習指導B	4前		1							兼1
	キリスト教と学校教育	2前	2			2					兼1
	小学校教育実習	3後		5				3			
	介護等体験及び事前事後指導	2通		2		1					
	障害児教育総論	2前		2		1					兼1
	知的障害児の心理・生理・病理A	2前		2					1		兼2
	知的障害児の心理・生理・病理B	2後		2					1		兼2
	肢体不自由児の心理・生理・病理	2前		2							兼1
	病弱児の心理・生理・病理	3前		2							兼2
	情緒障害児の心理	3後		2							兼1
	知的障害児指導法	2後		2		1					
	病弱児指導法	3後		2							兼1
	障害幼児指導法	2後		2							兼1
	肢体不自由児指導法	2後		2				1			
	視覚障害児の教育総論	3前		2							兼1
	聴覚障害児の教育総論	3前		2							兼1
	重複障害児の教育総論	3前		2							兼1
	発達障害児の教育総論	2後		2							兼2
	特別支援教育実習	4後		3		1		1	1		
	学校経営と学校図書館	2前		2							兼1
	学校図書館メディアの構成	2後		2							兼1
	学習指導と学校図書館	2後		2							兼1
	読書と豊かな人間性	2前		2							兼1
	情報メディアの活用	2後		2							兼1
演 習 科 目	専門演習(児童学Ⅰ)	2後		1		1					
	専門演習(児童学Ⅱ)	3前		1		1					
	専門演習(キリスト教幼児教育Ⅰ)	2後		1			1				
	専門演習(キリスト教幼児教育Ⅱ)	3前		1			1				
	専門演習(造形教育論Ⅰ)	2後		1		1					
	専門演習(造形教育論Ⅱ)	3前		1		1					
	専門演習(音楽創造論Ⅰ)	2後		1			1				
	専門演習(音楽創造論Ⅱ)	3前		1			1				
	専門演習(保育実践論Ⅰ)	2後		1		1					
	専門演習(保育実践論Ⅱ)	3前		1		1					
	専門演習(異文化間教育Ⅰ)	2後		1			1				
	専門演習(異文化間教育Ⅱ)	3前		1			1				
	専門演習(教育文化論Ⅰ)	2後		1			1				
	専門演習(教育文化論Ⅱ)	3前		1			1				
	専門演習(生涯学習Ⅰ)	2後		1		1					
	専門演習(生涯学習Ⅱ)	3前		1		1					
	専門演習(教育心理学Ⅰ)	2後		1		1					
	専門演習(教育心理学Ⅱ)	3前		1		1					
	専門演習(児童文学Ⅰ)	2後		1		1					
	専門演習(児童文学Ⅱ)	3前		1		1					
	専門演習(社会科Ⅰ)	2後		1				1			
	専門演習(社会科Ⅱ)	3前		1				1			
	専門演習(栄養教育Ⅰ)	2後		1					1		
	専門演習(栄養教育Ⅱ)	3前		1					1		

科目 区分	授業科目の名称	配 当 年 次	単位数			専任教員等の配置					兼 任 ・ 兼 担
			必 修	選 択	自 由	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手	
専門 科目 群	専門演習(特別支援教育論Ⅰ)	2後		1		1					
	専門演習(特別支援教育論Ⅱ)	3前		1		1					
	専門演習(障害児心理学Ⅰ)	2後		1					1		
	専門演習(障害児心理学Ⅱ)	3前		1					1		
	卒業研究(児童学Ⅰ)	3後		1		1					
	卒業研究(児童学Ⅱ)	4前		1		1					
	卒業研究(キリスト教幼児教育Ⅰ)	3後		1			1				
	卒業研究(キリスト教幼児教育Ⅱ)	4前		1			1				
	卒業研究(造形教育論Ⅰ)	3後		1		1					
	卒業研究(造形教育論Ⅱ)	4前		1		1					
	卒業研究(音楽創造論Ⅰ)	3後		1			1				
	卒業研究(音楽創造論Ⅱ)	4前		1			1				
	卒業研究(保育実践論Ⅰ)	3後		1		1					
	卒業研究(保育実践論Ⅱ)	4前		1		1					
	卒業研究(異文化間教育Ⅰ)	3後		1			1				
	卒業研究(異文化間教育Ⅱ)	4前		1			1				
	卒業研究(教育文化論Ⅰ)	3後		1			1				
	卒業研究(教育文化論Ⅱ)	4前		1			1				
	卒業研究(生涯学習Ⅰ)	3後		1		1					
	卒業研究(生涯学習Ⅱ)	4前		1		1					
	卒業研究(教育心理学Ⅰ)	3後		1		1					
	卒業研究(教育心理学Ⅱ)	4前		1		1					
	卒業研究(児童文学Ⅰ)	3後		1		1					
	卒業研究(児童文学Ⅱ)	4前		1		1					
	卒業研究(社会科Ⅰ)	3後		1				1			
	卒業研究(社会科Ⅱ)	4前		1				1			
	卒業研究(栄養教育Ⅰ)	3後		1					1		
	卒業研究(栄養教育Ⅱ)	4前		1					1		
	卒業研究(特別支援教育論Ⅰ)	3後		1		1					
	卒業研究(特別支援教育論Ⅱ)	4前		1		1					
	卒業研究(障害児心理学Ⅰ)	3後		1					1		
	卒業研究(障害児心理学Ⅱ)	4前		1					1		
	卒業論文	4後		6		7	4	1	2	0	
総合 科目 群	経済学研究	3前		2							兼1
	企業財務論研究	3後		2							兼3
	まちづくり論研究	3前		2							兼1
	地域文化論	3前		2							兼1
	欧米文化学特論	4前		2							兼1
	日本思想特論	4後		2							兼1
	日本文化学研究	4前		4							兼1
	アメリカ文化学研究A	4前		4							兼1
	ヨーロッパ文化学研究B	4後		4							兼2
	キリスト教文化学研究A	4前		4							兼1
	児童教育学特論	4前		4			1				
	児童学特論	4後		4		1					
	高齢者福祉特論	4前		4							兼1
	児童福祉特論	4後		4							兼1
	発達心理学特論	4前		4							兼1
			20	292	0						

科目 区分	授業科目の名称	配 当 年 次	単位数			専任教員等の配置					兼 任 ・ 兼 担
			必 修	選 択	自 由	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手	
専門 科目 群	専門演習(特別支援教育論Ⅰ)	2後		1		1					
	専門演習(特別支援教育論Ⅱ)	3前		1		1					
	専門演習(障害児心理学Ⅰ)	2後		1					1		
	専門演習(障害児心理学Ⅱ)	3前		1					1		
	卒業研究(児童学Ⅰ)	3後		1		1					
	卒業研究(児童学Ⅱ)	4前		1		1					
	卒業研究(キリスト教幼児教育Ⅰ)	3後		1			1				
	卒業研究(キリスト教幼児教育Ⅱ)	4前		1			1				
	卒業研究(造形教育論Ⅰ)	3後		1		1					
	卒業研究(造形教育論Ⅱ)	4前		1		1					
	卒業研究(音楽創造論Ⅰ)	3後		1			1				
	卒業研究(音楽創造論Ⅱ)	4前		1			1				
	卒業研究(保育実践論Ⅰ)	3後		1		1					
	卒業研究(保育実践論Ⅱ)	4前		1		1					
	卒業研究(異文化間教育Ⅰ)	3後		1			1				
	卒業研究(異文化間教育Ⅱ)	4前		1			1				
	卒業研究(教育文化論Ⅰ)	3後		1			1				
	卒業研究(教育文化論Ⅱ)	4前		1			1				
	卒業研究(生涯学習Ⅰ)	3後		1		1					
	卒業研究(生涯学習Ⅱ)	4前		1		1					
	卒業研究(教育心理学Ⅰ)	3後		1		1					
	卒業研究(教育心理学Ⅱ)	4前		1		1					
	卒業研究(児童文学Ⅰ)	3後		1		1					
	卒業研究(児童文学Ⅱ)	4前		1		1					
	卒業研究(社会科Ⅰ)	3後		1				1			
	卒業研究(社会科Ⅱ)	4前		1				1			
	卒業研究(栄養教育Ⅰ)	3後		1					1		
	卒業研究(栄養教育Ⅱ)	4前		1					1		
	卒業研究(特別支援教育論Ⅰ)	3後		1		1					
	卒業研究(特別支援教育論Ⅱ)	4前		1		1					
	卒業研究(障害児心理学Ⅰ)	3後		1					1		
	卒業研究(障害児心理学Ⅱ)	4前		1					1		
	卒業論文	4後		6		8	3	1	2		
			20	323	0						

- (注) ・ 認可申請書又は設置届出書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
- ・ 設置認可時又は届出時の授業科目全て(兼任、兼担教員が担当する科目を含む。)を黒字で記載してください。
- その上で、認可時又は届出時から変更となっている箇所は太字の赤字としてください。
- ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても記入してください。
- ・ 1ページ目には認可時又は届出時と平成30年度の表を記入してください。
- ・ 不要な年度(平成28年度開設であれば平成27年度、平成29年度開設であれば平成27年度及び平成28年度、平成30年度開設であれば平成27年度から平成29年度)の表は適宜削除し、詰めてください。
- (2つの表が1ページに表示されるようにしてください。)

(1) ②授業科目表に関する変更内容

【平成30年度】

教育課程の見直しにより、「日本国憲法」の科目区分を「その他」から「基礎科目」に変更
教育課程の見直しにより、「アカデミックライティング」を新設
教育課程の見直しにより、「Special Lecture Series」の科目区分を「その他」から「基礎科目」に変更
大学全体の入学人数増加によるクラス増設のため、「ECA(Speaking)Ⅰ」の教員等の配置を「兼3」から「兼5」に変更
大学全体の履修者数増加によるクラス増設のため、「ECA(Speaking)Ⅱ」の配当年次を「1後」から「1前・後」に、教員等の配置を「兼1」から「兼2」に変更
大学全体の入学人数増加によるクラス増設のため、「ECA(Reading)Ⅱ」の配当年次を「1前」から「1前・後」に変更
教育課程の見直しにより、「ECA(Cinema)Ⅰ」の科目名称を「ECA(Cinema)A」に変更
教育課程の見直しにより、「ECA(Cinema)Ⅱ」の科目名称を「ECA(Cinema)B」に変更
大学全体の履修者数増加によるクラス増加のため、「ECA(English through Songs)A」の教員等の配置を「兼1」から「兼2」に変更
担当者のコマ数調整のため、「ECA(Business)」の教員等の配置を「兼2」から「兼1」に変更
大学全体の履修者数増加によるクラス増設のため、「ECA(Travel English)」の教員等の配置を「兼3」から「兼4」に変更
大学全体の履修者数増加によるクラス増設のため、「ECA(Basic TOEIC)A」の配当年次を「1前」から「1前・後」に、教員等の配置を「兼1」から「兼2」に変更
大学全体の履修者数増加によるクラス増設のため、「ECA(Basic TOEIC)B」の教員等の配置を「兼1」から「兼2」に変更
大学全体の履修者数増加によるクラス増設のため、「ECA(Basic Grammar)」の配当年次を「1前」から「1前・後」に、教員等の配置を「兼1」から「兼2」に変更
大学全体の履修者数増加によるクラス増設のため、「ECA(Global Understanding)」の教員等の配置を「兼1」から「兼2」に変更
教育課程の見直しにより、「ECA(留学生のための英語)」を新設
教育課程の見直しにより、「ECA(Advanced English)」を新設
教育課程の見直しにより、「日本語1(文字語彙)A」を新設
教育課程の見直しにより、「日本語1(文字語彙)B」を新設
教育課程の見直しにより、「日本語1(総合)A」を新設
教育課程の見直しにより、「日本語1(総合)B」を新設
教育課程の見直しにより、「日本語1(文章表現)」を新設
教育課程の見直しにより、「日本語1(口頭表現)」を新設
教育課程の見直しにより、「日本語1(応用漢字)」を新設
教育課程の見直しにより、「日本語1(文法)」を新設
教育課程の見直しにより、「日本語1(アカデミックスキル)」を新設
教育課程の見直しにより、「日本語1A」を新設
教育課程の見直しにより、「日本語1B」を新設
教育課程の見直しにより、「日本語1C」を新設
教育課程の見直しにより、「日本語1D」を新設
教育課程の見直しにより、「日本語2(文字語彙)A」を新設
教育課程の見直しにより、「日本語2(文字語彙)B」を新設
教育課程の見直しにより、「日本語2(文章表現)A」を新設
教育課程の見直しにより、「日本語2(文章表現)B」を新設
教育課程の見直しにより、「日本語2(口頭表現)」を新設
教育課程の見直しにより、「日本語2(試験対策)A」を新設
教育課程の見直しにより、「日本語2(試験対策)B」を新設
教育課程の見直しにより、「日本語2(日本語ICT)」を新設
教育課程の見直しにより、「アカデミックジャパニーズ」を新設
教育課程の見直しにより、「日本語3(文字語彙)A」を新設
教育課程の見直しにより、「日本語3(文字語彙)B」を新設
教育課程の見直しにより、「日本語3(文章表現)」を新設
教育課程の見直しにより、「日本語3(口頭表現)」を新設
教育課程の見直しにより、「日本語3(試験対策)」を新設
教育課程の見直しにより、「日本語4(文字語彙)A」を新設
教育課程の見直しにより、「日本語4(文字語彙)B」を新設
教育課程の見直しにより、「日本語4(文章表現)」を新設
教育課程の見直しにより、「日本語4(口頭表現)」を新設
教育課程の見直しにより、「日本語4(試験対策)」を新設
兼担、兼任講師辞退により、「生涯スポーツ実習A」の教員等の配置を「兼7」から「兼5」に変更
兼担、兼任講師辞退により、「生涯スポーツ実習B」の教員等の配置を「兼7」から「兼5」に変更
教育課程の見直しにより、「キリスト教とアメリカ文化A」を新設
教育課程の見直しにより、「キリスト教とアメリカ文化B」を新設
教育課程の見直しにより、「インターンシップII(留学生)」を新設
教育課程の見直しにより、「ビジネス日本語対策講座A」を新設
教育課程の見直しにより、「ビジネス日本語対策講座B」を新設
教育課程の見直しにより、「日本国憲法」の科目区分を「その他」から「基礎科目」に変更
教育課程の見直しにより、「Special Lecture Series」の科目区分を「その他」から「基礎科目」に変更
教育課程の見直しにより、「地元学」の科目区分を「その他」から「地域学」に変更し開講期を「1前」から「1後」に変更
教育課程の見直しにより、「宮原地域学」の科目区分を「その他」から「地域学」に変更
教育課程の見直しにより、「金石学」の科目区分を「その他」から「地域学」に変更
教育課程の充実のため、「金石学」の教員等の配置を「兼2」から「兼3」に変更
教育課程の見直しにより、「コミュニティサービスラーニングⅠ」の科目区分を「その他」から「コミュニティサービスラーニング」に変更
教育課程の見直しにより、「コミュニティサービスラーニングⅡ」の科目区分を「その他」から「コミュニティサービスラーニング」に変更し、開講期を「2後」から「2休」に変更
教育課程の見直しにより、「被災地支援・インターンシップA」の科目区分を「その他」から「コミュニティサービスラーニング」に変更
教育課程の見直しにより、「被災地支援・インターンシップB」の科目区分を「その他」から「コミュニティサービスラーニング」に変更
教育課程の見直しにより、「被災地支援・インターンシップC」の科目区分を「その他」から「コミュニティサービスラーニング」に変更
教育課程の見直しにより、「ボランティア体験の言語化技法と実践」を新設

教育課程の見直しにより、「アメリカ文化演習A」の科目区分を「その他」から「海外研修」に変更
 教育課程の見直しにより、「アメリカ文化演習B」の科目区分を「その他」から「海外研修」に変更
 教育課程の見直しにより、「オーストラリア文化演習」の科目区分を「その他」から「海外研修」に変更
 教育課程の見直しにより、「カナダ文化演習」の科目区分を「その他」から「海外研修」に変更
 教育課程の見直しにより、「海外文化演習」を新設
 教育課程の見直しにより、「西洋史」の教員等の配置を「兼3」から「兼2」に変更
 教育課程の見直しにより、「比較言語文化論」を新設
 教育課程の見直しにより、「現代社会」を新設
 教育課程の見直しにより、「民俗環境論」の開講期を「1前・後」から「1後」に変更
 担当教員昇任により、「キリスト教文化論A」の専任教員等の配置を「准教授1」から「教授1」に変更
 担当教員昇任により、「キリスト教文化論B」の専任教員等の配置を「准教授1」から「教授1」に変更
 教育課程の見直しにより、「言葉の基礎」の科目区分を「共通基本科目」から「教育関連科目」に変更
 教育課程の見直しにより、「児童文学」の開講期を「1前・後」から「1後」に変更
 教育課程の見直しにより、「英米児童文学」の開講期を「1前」から「2前」に変更
 教育課程の見直しにより、「発達心理学」の開講期を「1後」から「1前・後」に変更
 専任教員の担当コマ数調整により、「社会教育論A」の専任教員等の配置を「教授1」から兼任・兼任「兼1」に変更
 専任教員の担当コマ数調整により、「社会教育論B」の専任教員等の配置を「教授1」から兼任・兼任「兼1」に変更
 教育課程の見直しにより、「言葉の基礎」の「共通基本科目」から「教育関連科目」に移動
 教育課程の見直しにより、「社会」の開講期を「1後」から「1前」に変更
 教育課程の見直しにより、「算数」の開講期を「1後」から「1前・後」に変更
 教育課程充実のため、「理科」の担当者を追加
 教育課程の見直しにより、「生活」の開講期を「1前」から「1前・後」に変更
 教育課程充実のため、「音楽A」の担当者を追加
 教育課程の充実を図るため、「音楽・実技A」を追加
 教育課程の充実を図るため、「音楽・実技B」を追加
 教育課程の見直しにより、「音楽・合奏指導」の配当年次を「1前」から「1後」に変更
 教育課程の見直しにより、「教師論」の開講期を「1前」から「1後」に変更
 教育課程の見直しにより、「教職実践演習(幼・小)」の専任教員等の配置を「講師4」から「講師5」に変更
 教育課程の見直しにより、「音楽科教育法」の教員配置を「兼1」から「准教授1」に変更
 教育課程の見直しにより、「道德教育指導法」の教員配置を「講師1」から「講師1・兼1」に変更
 教育課程の充実を図るため、「キリスト教と学校教育」を新設
 担当教員昇任により、「専門演習(キリスト教幼児教育Ⅰ)」の専任教員等の配置を「准教授1」から「教授1」に変更
 担当教員昇任により、「専門演習(キリスト教幼児教育Ⅱ)」の専任教員等の配置を「准教授1」から「教授1」に変更
 担当教員昇任により、「卒業研究(キリスト教幼児教育Ⅰ)」の専任教員等の配置を「准教授1」から「教授1」に変更
 担当教員昇任により、「卒業研究(キリスト教幼児教育Ⅱ)」の専任教員等の配置を「准教授1」から「教授1」に変更
 担当教員昇任により、「卒業論文」の専任教員等の配置を「教授7」から「教授8」、「准教授4」から「准教授3」に変更。また記載間違いのため「助手0」を削除。

- (注) ・ 変更内容(配当年次の変更、専任教員等の配置の変更、授業科目名の変更、新規科目の追加など)を箇条書きで記入してください。
 変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
 ・ 変更内容には、授業科目の未開講や廃止については記入しないでください。
 ・ 不要な年度(平成28年度開設であれば平成27年度、平成29年度開設であれば平成27年度及び平成28年度、平成30年度開設であれば平成27年度から平成29年度)の表は適宜削除してください。

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計(A)	必修	選択	自由	計	
20 科目	292 科目	0 科目	312 科目	20 科目 [0]	323 科目 [31]	0 科目 [0]	343 科目 [31]	

- (注) ・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、[]内に、設置時の計画からの増減を記入してください。(記入例：1科目減の場合：△1)

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由、代替措置の有無
1	英米児童文学	4	1前	専門	選択	所属学部 of 都合により、開講期を「2前」に変更
2	音楽・合奏指導	1	1前	専門	選択	所属学部 of 都合により、開講期を「1後」に変更
3						

- (注) ・ 配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については、記入しないでください。
 - ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由、代替措置の有無
1	ECA(Ginema)Ⅲ	1	2前	一般	選択	教育課程の見直しによる廃止。
2	経済学研究	2	3前	専門	選択	学部・大学院連携のための新制度導入に伴い、本科目が属する「総合科目群」が統合されたため。
3	企業財務論研究	2	3後	専門	選択	学部・大学院連携のための新制度導入に伴い、本科目が属する「総合科目群」が統合されたため。
4	まちづくり論研究	2	3前	専門	選択	学部・大学院連携のための新制度導入に伴い、本科目が属する「総合科目群」が統合されたため。
5	地域文化論	2	3前	専門	選択	学部・大学院連携のための新制度導入に伴い、本科目が属する「総合科目群」が統合されたため。
6	欧米文化学特論	2	4前	専門	選択	学部・大学院連携のための新制度導入に伴い、本科目が属する「総合科目群」が統合されたため。
7	日本思想特論	2	4後	専門	選択	学部・大学院連携のための新制度導入に伴い、本科目が属する「総合科目群」が統合されたため。
8	日本文化学研究	4	4前	専門	選択	学部・大学院連携のための新制度導入に伴い、本科目が属する「総合科目群」が統合されたため。
9	アメリカ文化学研究A	4	4前	専門	選択	学部・大学院連携のための新制度導入に伴い、本科目が属する「総合科目群」が統合されたため。
10	ヨーロッパ文化学研究B	4	4後	専門	選択	学部・大学院連携のための新制度導入に伴い、本科目が属する「総合科目群」が統合されたため。
11	キリスト教文化学研究A	4	4前	専門	選択	学部・大学院連携のための新制度導入に伴い、本科目が属する「総合科目群」が統合されたため。
12	児童教育学特論	4	4前	専門	選択	学部・大学院連携のための新制度導入に伴い、本科目が属する「総合科目群」が統合されたため。
13	児童学特論	4	4後	専門	選択	学部・大学院連携のための新制度導入に伴い、本科目が属する「総合科目群」が統合されたため。
14	高齢者福祉特論	4	4前	専門	選択	学部・大学院連携のための新制度導入に伴い、本科目が属する「総合科目群」が統合されたため。
15	児童福祉特論	4	4後	専門	選択	学部・大学院連携のための新制度導入に伴い、本科目が属する「総合科目群」が統合されたため。
16	発達心理学特論	4	4前	専門	選択	学部・大学院連携のための新制度導入に伴い、本科目が属する「総合科目群」が統合されたため。

- (注) ・ 設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

●教育課程の見直しにより、「ECA(Cinema)Ⅲ」を廃止とした。
●大学院科目受講に係る新制度の導入により、大学院への接続を念頭に置いた発展的な科目群である「総合科目群」が統合された。よって、同科目群開設科目である以下15科目が廃止とした。
「経済学研究」「企業財務論研究」「まちづくり論研究」「地域文化論」「欧米文化学特論」「日本思想特論」「日本文化学研究」「アメリカ文化学研究A」「ヨーロッパ文化学研究B」「キリスト教文化学研究A」「児童教育学特論」「児童学特論」「高齢者福祉特論」「児童福祉特論」「発達心理学特論」
以上の変更については、学生要覧、ガイダンス、個別履修指導で学生に周知した。

(注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目(3)と廃止科目(4)の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計(A)}} = \frac{18}{312} = \boxed{5.76}\%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。
・ 「未開講科目と廃止科目の計」が、「(3)未開講科目」と「(4)廃止科目」の合計数となるように留意してください。

3 施設・設備の整備状況、経費

区 分		内 容				備考
(1) 校地等	区 分	専 用	共 用	共用する他の学校等の専用	計	借用面積：7,042㎡ 借用期間：20年
	校 舎 敷 地	34,076 ㎡	— ㎡	— ㎡	34,076 ㎡	
	運動場用地	26,241 ㎡	— ㎡	— ㎡	26,241 ㎡	
	小 計	60,317 ㎡	— ㎡	— ㎡	60,317 ㎡	
	そ の 他	1,996 ㎡	— ㎡	— ㎡	1,996 ㎡	
	合 計	62,313 ㎡	— ㎡	— ㎡	62,313 ㎡	
(2) 校 舎		専 用 20,410 20,385 ㎡ (20,385 ㎡)	共 用 — ㎡ (— ㎡)	共用する他の学校等の専用 — ㎡ (— ㎡)	計 20,410 20,385 ㎡ 20,410 20,385 ㎡	守衛室を校舎に計上のため(30)
(3) 教 室 等		講 義 室 28 室	演 習 室 30 34 室	実験実習室 12 室	情報処理学習施設 4 室 (補助職員 0 人)	語学学習施設 0 室 (補助職員 0 人)
(4) 専任教員研究室		新設学部等の名称 人文学部 児童学科		室 数 19 20 室		平成30年4月演習室を研究室に変更のため(30)
(5) 図書・設備	新設学部等の名称	図 書 〔うち外国書〕 冊	学術雑誌 〔うち外国書〕 種	電子ジャーナル 〔うち外国書〕 点	視聴覚資料 点	機械・器具 点
	人文学部 児童学科	321,197 [65,761] 307,308 [65,694] (310,237 [65,489])	2,845 [2,450] 2,838 [2,455] (2,840 [2,448])	2,400 [2,400] 2,464 [2,427] (2,395 [2,395])	3,318 (3,222)	123 (123)
	計	321,197 [65,761] 307,308 [65,694] (310,237 [65,489])	2,845 [2,450] 2,838 [2,455] (2,840 [2,448])	2,400 [2,400] 2,464 [2,427] (2,395 [2,395])	3,318 (3,222)	123 (123)
(6) 図 書 館		面 積 2,420 ㎡	閱 覧 座 席 数 318	収 納 可 能 冊 数 224,000	大学全体	
(7) 体 育 館		面 積 1,578 ㎡	体育館以外のスポーツ施設の概要 —			大学全体
(8) 経費の見積り及び維持方法の概要	経費の見積り	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設前年度
		教員1人当り研究費等	500千円	500千円	図書購入費	2,250千円 2,110千円
		共同研究費等	-千円	-千円	設備購入費	7,250千円 4,220千円
	学生1人当り納付金	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次
		1,310千円	1,030千円	1,050千円	1,070千円	-千円
		学生納付金以外の維持方法の概要	私立大学等経常費補助金、雑収入他			

- (注) ・ 設置時の計画を、申請書の様式第2号(その1の1)に準じて作成してください。(複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はAC対象学部等の数値を記入してください。)
- ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨(所要時間・距離等)を「備考」に記入してください。
 - ・ 「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には平成30年5月1日現在の数値を記入してください。
 - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「(30)」を「備考」に赤字で記入してください。
なお、昨年度の報告において赤字で見え消しした部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
 - ・ 校舎等建物の計画の変更(校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延)がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。
 - ・ 国立大学については「(8)経費の見積り及び維持方法の概要」は記載不要です。

4 AC対象学部等を含む大学等の状況

大学 学 校 名 称	聖 学 院 大 学								備 考
既設学部等の名称	修業 年限	入 学 定 員	編入学 定 員	収 容 定 員	学位又は 称号	平均入学 定員 超過率	開 設 年 度	所 在 地	
心理福祉学部	年	人	年次 人	人		倍			
心理福祉学科	4	120	3年次 20	520	学士 (心理福祉 学)	1.09	平成30年度	埼玉県上尾市戸崎1番1号	
人文学部						0.70			
児童学科	4	100	－	400	学士 (児童学)	0.70	平成30年度	同上	
政治経済学部						1.11			
政治経済学科	4	160	－	640	学士 (政治経済 学)	1.11	昭和63年度	同上	
コミュニティ政策学科	4	－	－	－	学士(コミュ ニティ政策 学)	－	平成12年度	同上	平成25年より学生 募集停止
人文学部						0.90			
欧米文化学科	4	80	－	320	学士(欧米文 化学)	0.73	平成4年度	同上	
日本文化学科	4	80	－	320	学士(日本文 化学)	1.07	平成10年度	同上	
人間福祉学部									
児童学科	4	－	－	－	学士(児童 学)	－	平成16年度	同上	平成29年より学生 募集停止
こども心理学科	4	－	－	－	学士(心理・ 健康保健学)	－	平成24年度	同上	平成29年より学生 募集停止
人間福祉学科	4	－	－	－	学士(人間福 祉学)	－	平成16年度	同上	平成29年より学生 募集停止
政治政策学研究科									
政治政策学専攻	2	10	－	20	修士(政治 学)	1.3	平成8年度	同上	
アメリカ・ヨーロッパ文化学 研究科									
アメリカ・ヨーロッパ文化学 専攻(博士前期課程)	2	5	－	10	修士(アメリカ ・ヨーロッパ文化学)	0.3	平成11年度	同上	
アメリカ・ヨーロッパ文化学 専攻(博士後期課程)	3	5	－	15	博士(学術)	0.4	平成13年度	同上	
人間福祉学研究科									
人間福祉学専攻	2	10	－	20	修士(人間福 祉学)	0.15	平成18年度	同上	
(注意) 課程認定等により専攻・コースに入学定員を定めている場合は、専攻・コース別にも記入してください。(履修上の区分として専攻・コースを設けている場合は記入は不要です。)									
(注意) 学生募集を停止している学部等がある場合、入学定員・収容定員・平均入学定員超過率は「－」とし、「備考」に「平成〇〇年より学生募集停止」と記入してください。									

- (注) ・本調査の対象となっている大学等の設置者(学校法人等)が設置している全ての大学(学部, 学科), 大学院(専攻)及び短期大学(学科)(AC対象学部等含む)について, それぞれの学校種ごとに, 平成30年5月1日現在の上記項目の情報を記入してください。
- ・学部の学科または研究科の専攻等, 「入学定員を定めている組織」ごとに記入してください。
※「入学定員を定めている組織ごと」には, 課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めます。履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。
※なお, 課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は, 法令上規定されている組織上の最小単位(大学であれば「学科」, 短期大学であれば「専攻課程」)でも記載してください。
 - ・専攻科に係るものについては, 記入する必要はありません。
 - ・AC対象学部等については, 必ず記入するとともに, 下線を引いてください。
 - ・「平均入学定員超過率」には, 標準修業年限に相当する期間における入学定員に対する入学者の割合の平均の小数点以下第2位まで(小数点以下第3位を切り捨て)を記入してください。
 - ・学生募集を停止している学部等がある場合, 入学定員・収容定員・平均入学定員超過率は「―」とし, 「備考」に「平成〇〇年より学生募集停止」と記入してください。

5 教員組織の状況

個人情報を含む情報につき、HPでの公表は割愛。

6 留意事項等に対する履行状況等

区 分	留 意 事 項 等	履 行 状 況	未履行事項について の実施計画
設 置 時 (30年4月)	・ 完成年次前に、定員規定に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が比較的高いことから、定年規定の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編成の将来構想について検討すること。	・ 平成30年度より非常勤講師については若手教員の採回り、完成年次後の専任教員登用を模索し始めている。 高齢教員の割合が高いことによる教育内容の継承に関わる課題、教育研究の活性化の不足に関する問題への対策として、幼・小・特支の教職課程および保育士資格課程における教務および実習指導を担う若手・中堅教員により、総体的・年次継続的なカリキュラム把握とマネジメントに着手した。これにより、高齢教員によって培われてきた教育内容を継受するとともに、学科の将来構想を視野にilleた教育課程編成および教員組織編成の基盤を形成する。	・ 学校における管理職経験者等の実務家教員の任用を行ったため、開設当初はとくに実務家教員で年齢層が高くなっていたが、教職再課程認定の結果をまち、次年度以降に具体的な教員組織編成の将来構想を立てる計画である。
	・ 聖学院大学人文学部欧米文化学科の定員充足率の平均が0.7倍未満となっていることから、学生確保に努めるとともに、入学定員の見直しについて検討すること。	・ 高校訪問やオープンキャンパス、複数媒体を使用した広報活動等において学生確保に向けた取り組みを改善、強化したこと、またここ2年間に「グローバルキャンプ」という産学共同事業による高大接続プログラムを実施したことなどの結果、人文学部欧米文化学科の平成30年度入学定員超過率は1.06倍となり、平均入学定員超過率も0.73倍と設置届出時より改善した。継続して定員充足に向け努める。	

設置計画履行状況 調 査 時 (31年 2 月)		是正意見		未履行	
設置計画履行状況 調 査 時 (32年 2 月)		改善意見		未履行	
設置計画履行状況 調 査 時 (33年 2 月)		改善意見		未履行	
設置計画履行状況 調 査 時 (34年 2 月)		改善意見		履行済	
設置計画履行状況 調 査 時 (35年 2 月)		改善意見		未履行	
設置計画履行状況 調 査 時 (●●年 2 月)		改善意見		未履行	
設置計画履行状況 調 査 時 (●●年 2 月)		改善意見		履行済	

(注) ・ 「設置時」には、当該大学等の設置時（認可時又は届出時）に付された留意事項（学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る留意事項を除く。）と、それに対する履行状況等について、具体的に記入し、報告年度を（ ）書きで付記してください。

- ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該設置計画履行状況調査の結果、当該大学に付された意見を全て記入するとともに、付された意見に対する履行状況等について、具体的に記入してください。その履行状況等を裏付ける資料があれば、添付してください。
- ・ 「履行状況」では、履行途中であれば「未履行」、履行済みであれば「履行済」を選択してください。
- ・ 該当がない場合には、「該当なし」と記入してください。
- ・ 「設置計画履行状況調査時」の（年月）には、調査結果を公表した月（通常 2 月）を記入してください。（実地調査や面接調査を実施した日ではありません。）

7 その他全般的事項

<人文学部 児童学科>

(1) 設置計画変更事項等

設 置 時 の 計 画	変更内容・状況、今後の見通しなど
該当なし	-

(注) ・ 1～6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの（未実施を含む。）及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。

(2) 教員の資質の維持向上の方策（FD・SD活動含む）

- ① 実施体制
 - a 委員会の設置状況
全学的なFD・SD委員会を設置している。
 - b 委員会の開催状況（教員の参加状況含む）
FD・SD委員会は、児童学科を含めて教員6人、職員2人で構成し、月に1回開催している。
 - c 委員会の審議事項等
予算案、年間の活動計画、個別事業などの検討
- ② 実施状況
 - a 実施内容
 - 1) アクティブ・ラーニングの研修会
 - 2) シラバス執筆マニュアルの作成
 - 3) シラバスチェック
 - 4) News Letterの発行
 - 5) 非常勤教員FD研修会 等
 - b 実施方法
研修会の開催、ニュースの発行など
 - c 開催状況（教員の参加状況含む）
1)は10月、3)は来年2月、4)は11月、5)は来年2月に、それぞれ実施する予定である。2)については5月以降に行う。
 - d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況
1)～5)の実施を踏まえ、授業の内容、方法、評価方法などを改善する予定である。
- ③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況
 - a 実施の有無及び実施時期
学期末に授業評価アンケートを実施する
 - b 教員や学生への公開状況、方法等
校内システムで教員ごとに担当科目のアンケート結果を公開し、学生からの評価及び今後の課題（改善策）について当該教員が応答し、「授業アンケートに答えて」という冊子を作成し、学生に公開する。

(注) ・ 「①a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。
「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。（記入例参照）

(3) 自己点検・評価等に関する事項

- ① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見
プロテスタント・キリスト教の精神と文化を継承する教育研究機関の人文学部として、欧米文化学科、日本文化学科に加えて児童学科を擁したことで、人を育む営みを通じた文化創造の教育研究を、文化継承研究と並ぶ課題に据えた歩み出しを果たした。平成30年度に新設された人文学部児童学科は、設置の趣旨に従い、旧来の幼稚園教職・保育士資格課程に加えて、小学校英語を充実させた小学校教職課程とその上に備えられる特別支援教職課程をスタートさせ、意欲のある入学生を得て、子どもをめぐる今日的課題を人文学的基礎の上に探究する教育研究を順調に実行しつつある。

② 自己点検・評価報告書

a 公表（予定）時期

・平成26年5月1日 公表

b 公表方法

・大学ホームページ上に公開済

③ 認証評価を受ける計画

・平成33年度に評価機関（大学基準協会）の評価を受けるべく、学内で検討中

（注）・ 設置時の計画の変更（又は未実施）の有無に関わらず記入してください。

また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。

なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

（4）情報公表に関する事項

○ 設置計画履行状況報告書

a ホームページに公表（予定）の有無 （ ☒ 有 ・ ☐ 無 ）

b 公表（予定）有の場合の公表（予定）時期 （ 平成30年 9月 30日 ）

（注）・ 「a ホームページに公表（予定）有無」には、5月1日時点で公表している場合、もしくは、今後公表する予定の場合は、「有」にマルを記入してください。今後も公表する予定がない場合は、「無」にマルを記入してください。

・ 「b 公表（予定）有の場合の公表（予定）時期」には、「a ホームページに公表（予定）有無」で「有」にマルを記入した場合のみ、時期を記入してください。